温室効果ガス排出削減計画

氏(法人)						E地)				
名 山崎製						〒 101-8585 東京都千代田区岩本町3-10-1				
本票作成	部署名:	開山丁		<u> </u>	<i>)</i> .	7 / / / / / / /		.m10 IO	1	
主たる業和	43 -15-4			食料品製造業						
<u> </u>	コート			X I I HI X C						
事業の概要	パン・和 	洋菓子	・製造・販	売 						
	番号			景等の名称			所		地	
	① 岡	山工場				岡山	県総社市井尻野	800		
県内の										
主 な 工場等										
##. # * ## =	* [/] (1)			500k0D/ F 🔲	(2) N° 7 • k7	9/1100台	、タクシー250台以⅃	<u>- □ ②</u>		- 000+D1 F
特定事業者の該当要件	7	広場等ℓ □場等ℓ					、ク// 250日め」 i数(②該当の:		0021央异0	台)
					1)1					
計画期間	+	令和		年度	~	令和	1 1 1		(1	箇年度)
削減目標	いずれを選択	2/3	総排出量		目標削		口尔	0~15% 15	~10% 10~	~5% 5%未満
2000年11日20年			原単位基		1. 0	%	区分	·	欠 虚)	0
温室効果ガン 排出量	[^]	基华 年	度(令和	5 年度)	+ CO.		目標年度(令和		年度) 20,580	+ CO-
排 山里	番号			20,778 湯等の名称	t CO2	11:	準年度(令和		•	排出量
	留 夕	岡山コ	**	万寸ツカツ		少-	中十次 (1771年		·夏) (7) 20, 778	
世迷た本の			<u>-~1113</u>						20, 110	t CO ₂
基準年度の主な工場等										t CO ₂
の排出量					1					t CO ₂
										t CO ₂
										t CO ₂
※ 「計画	i期間」相	闌には,	5 箇年度	以内で特定	事業者が定	める期	間を記入する。			
(原単位基準	温室効	果ガスの)排出量と密	密接な関係をもつ	つ値の内容		原単位当 基準年度	たり排	<u>出量</u> 目標年	产
削減目標を選 した場合に記		金額(1	0倍田)				- 基準平度 778		770	
入)		上作 (1	八四 11)			t C	202/ (10億円)	t C	02 / (10億円)
(該当事業者	のみ記入)					L		L		
ベンチマー	ク対	象事業	の名称	ベンチ	マーク指	票	関連数値(令利	[™] 5	年度)	達成率(%)
指標の状況	1									
【目標削減										
・前回計画 果ガスの削			~令和6年	三度)と同様に	に、年1.09	%削減目	目標とした省エ	ネ計画は	こ基づき	き温室効
AN NOOF	11/94 2 121 :	<i>,</i>								

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・環境推進会議に基づき、工場長をトップとした環境管理体制のもとに温室効果ガス削減を行っています。
- ・日々の電気及びガス使用量を掲示し、従業員に呼びかけし省エネ及び温室効果ガスの啓発を行っています。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山工場	洋菓子加工場空調機更新 49.0kw2台 ヘビーケーキ半製品保管庫空調機更新 44.8kw2台 食堂厨房空調機更新 25.0kw1台 エアー漏れ診断実施及びエアー漏れ箇所修理 蒸気トラップ診断実施及び蒸気漏れ箇所修理 空調機ファンモーター高効率モーターへ交換

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称 措置内容 岡山工場 冬場に冷却塔にて外気温で冷却水を冷却冷蔵庫・冷凍庫照明人感センサー設置貫流ボイラー2.5 t 2台更新産業空調ポンプ更新 2 6 k wから 2 2 k wへ変更経年劣化の空調空調機更新	【計画期間中に目標削減率を達用	昹するために実施する措直】
冷蔵庫・冷凍庫照明人感センサー設置 貫流ボイラー2.5 t 2 台更新 産業空調ポンプ更新 2 6 k w から 2 2 k w へ変更	工場等の名称	措置内容
		冷蔵庫・冷凍庫照明人感センサー設置 貫流ボイラー2.5 t 2 台更新 産業空調ポンプ更新 2 6 k wから 2 2 k wへ変更

<u>【森林保</u> 全	2等吸口	収源対策への取組計画】
県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・夏場の事務所空調の温度設定を28℃とし、クールビズ運動を取り組んでいます。
- ・社員研修において、アイドリングストップなどのエコドライブの啓発を実施しています。